

なぜ今、動労千葉

労働運動を学ぶのか

動労千葉と聞いてどんなイメージを持ちますか？

「僕の周りにはふた言目には“動労千葉”と言う人が多くて正直もうお腹いっぱいだよと思っていました。(中略)現場から闘いをつくっている。これがいいと思う。

闘いの総括軸は団結の強化・拡大という立場で闘ってきたから戦術はいつも柔軟だし闘いを泥沼化させたこともない。だからこそ長きにわたって闘ってこれたのかもしれない」

(団結パンチ 2 号被処分者友部君の感想より)

国鉄分割・民営化から今年で 20 年になりました。今、社会保険庁労働者にかけている攻撃と同じように 20 年前の国鉄職員に「働かないから赤字がでるんだ」「国賊だ」と言われていました。民営化で 3 人に 1 人がクビになる言われていた中で唯一、動労千葉だけが 2 波のストライキをうって、今も団結を強化・拡大しアメリカや韓国の労働者とも手を結んでいます。敵の狙いであつた国鉄労働運動を壊滅するという攻撃は破産したのです。

3 年後に改憲しようとしている中で今、労働者も学生もちよつとでも闘おうとするなら処分や解雇・退学がかけられようとする時代です。このような時代だからこそ動労千葉のように原則を守り仲間を信じ、団結を強化する闘いが必要です。

07 年後半期決戦、11 月労働者集会 1 万人結集に向けて

動労千葉労働運動のような闘いをキャンパスでまきおこしていきましょう！！

※館山支部の闘い、幕張事故闘争、国鉄分割・民営化の 3 つにしぼって収録しています。